

## ■主役は俺だ－2024年秋④

□山埜涼太郎（やまはな・りょうたろう） 釧路公立大4年 RB/LB

「体を張ったブロックで士気を上げる。チームで一番、体を張る」。頼りになる主将が、1部4年目のシーズンに向けて固い決意を口にした。2021年に創部34年目で初めて1部に昇格し、22年は初のAクラス、昨季は4位ながら優勝した北海道大、準優勝の北海学園大とも接戦を演じるなど、着実にチーム力をアップしてきた釧路公立大。選手35人のリーダーとして、昨季までのLBに加え、今季はFBとしてラン攻撃も支える山埜は、2強撃破と目標の初優勝に向けてモチベーションが高まるばかりだ。

北見北斗高では名門のラグビー部でフォワードを務めたが、3年生のシーズンを新型コロナウイルスのために棒にふり、不完全燃焼のまま大学へ。同学年のWR高坂駿佑（滝川西高）に誘われ、「ラグビーに似たスポーツだったから」と選んだのがアメフト部だった。「当たれるポジションに」とOLとLBを志望し、174センチ、82キロの鍛え込んだ体で1年生の秋から試合にも出場。昨季は守備の中核としてLBに専念した。それだけに、26点差を逆転されて33－35で惜敗した北海学園大戦の悔しさが忘れられない。

雪辱を期す今季、ブロック力を買われてFBにも起用される。「ボールを持つのはインサイドプレーだが、TBのためにしっかりとブロックで道を空けたい」と意気込む。昨季、FBでチームを引っ張った前主将の思いも引き継ぐ。攻守兼任で務めるLBでは「チームの勝利につながるタックルを決める。1試合で15タックルが目標」と力を込める。春季オープン戦は北海学園大と帯広畜産大に連敗したが、QB山口響生（4年、札幌清田高）とWR高坂のホットラインの確認や新戦力のテストなど、秋に向けた準備はできた。「一人一人が熱意のあるチーム、最後までボールを追うチーム、みんなのために体を張るチームにしたい」と、主将としての目標も掲げた。（塚田博）



### 〈プロフィール〉

2002年6月28日、北見生まれ。経済学部経済学科4年。目標とする選手はXリーグ・オービックのLB成瀬圭汰。「力強いプレーが魅力」と言う。